

附屬書類添附

900346

855006

大正九年七月六日 接受 管轄署

第三課

班 7/14 田中 二

公信第一八號

大正九年十一月廿三日

大正九年七月參日 記録係接受

在 彈 春

副領事 秋 洲 郁 三 郎



外務大臣伯爵内田康哉殿

愛死舁檢視調書進達、件

客月二日馬賊襲来、際、愛死ヲ遂ゲ

候警部代右武外邦人十名及鮮人七

名、對スル死舁檢視調書別冊及進達

候敬具

在 朝鮮總領事館 記 重 春 八 日

死體検案書

住所 彈春領事分館官舎

外務省警部 佐谷武

明治三十四年

右者大正九年十月二日午後四時彈春領事分館警察事務室焼跡に於て検死官警部代理巡查部長志波嘉六氏立會の上死體の検案スルに如し

一 死體ノ位置 彈春領事分館警察署事務室に於て體ノ長軸ヲ東西ニシ頭部ハ東方ニ

アリテ伏臥セルモノ如し

一 死體附近状況 一般ニ焼土ト他ニ僅力ニ四

周ノ練丸壁ヲ存スルニ

一 死體ノ状況 死體ハ火葬ニ附シタルモノト等シク

僅力ニ人體ノ痕ヲ認ムルニ過キズ

右ニ付断案クハスニ最初負傷ノ者ノ身體ノ自由ヲ失ヒ焼死ヲ遂ケタルモノト検案候也

大正九年十月二日

住所 支那彈春西門外

醫師 安倍篤吉

(同馬寶馬特製)

變死體檢視調書

年令 氏名

野中 右一
習五十一

原籍

長崎縣長崎市長崎市
百〇五番地戸主

住所

職業技術商

職業

置死位休

瑋春を鈴西北方約五斗米突、畑中へ取都り西北方ニ足都り東南ニテ服
臥位ニテテ死体ハ楊竹白葉畑地ニテテ五間ヲ隔テ、山芋畑アリ死体ハ詰襟
白藎色、年服リ着角ニ眼腺半開腫孔散大ニ口唇口腔ハ土砂及血液
ヲ以テ汚染セリ

变死

原因及狀況

大正九年十月一日夜より馬賊襲来ニ對スル脱離ノ方ト考案シ脱離シ難キ
當時城内ニ在リタルモ大穴ニ潛入スル所アリ矢ニ幸ハ午参七時五分頃東門より西
北方布ニ走リ出テ脱離セルト適走セル所國ノ所折ニ包圍セル賊徒ノ方メ
別隊臣帥控案ノ要衝偵創リ各々創レムニテ走リ追テ付キ来リタル賊徒
所持セル砲金今内入砲ヲ奪ヒ銃銃ニテ二個ヲ利創シ殺害セルモノナリ
ト判定セラルル報布奉聞ニ別隊臣帥控案ノ方ナリ

醫師

會及
人立

大正九年十月二十日
午後二時四十分
瑞春西門外
立會人
大橋
安
橋
兼
吉
醫師
換藥
不

考備

謂所大正九年十月廿五日當時廿五分三十分頃予自園上之屋殺
ヲ行ヒム所賊ノ匪徒ニ慘殺セラルル事人々中ノ一人ナリ

大正九年十月二日午前十時

在商島然領事館種春分領地
外務省庶務課長
立會人 照查 照查 大志 橋 龍
 

900350

900350

死体受取書

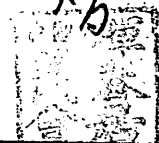
死者領事館長官

佐石武

右大正九年十月二日馬賊襲来之際に受取られた
が其の付く御検視の上で下便相成正に受取られた
大正九年十月五日

輝春日米人居留民會

岡島統領事務所
副理事秋柳三郎殿



900351

死體検案書

住所 支那 琿春 西門外

鈴木商店員

野中 右一

五十五歳

右者大正九年十月二十日午後四時四十分 琿春領事官館
西門外約五拾米突、烟中、於、檢死官外務省警部
代理巡查部長志波嘉六氏立會、上死體ヲ檢死スル
コト左ノ如シ

一 死體ノ位置 琿春領事官館西門外約五十米突、
烟中、頭部ヲ西門方ニ足部ヲ東南ニシテ服臥位ニアリ

一 死體附近ノ状況 一般ニ白菜及ヒ山芋畑ニシテ多數ノ足跡
ヲ以テ蹂躪シ西門鮮血ヲ以テ汚染セラル

一 死體ノ状況 死體内地人男子ニシテ諸襟ノ洋服ヲ着用
シ眼瞼半開瞳孔散大シ口唇口腔ニ土砂及ヒ血液ヲ
以テ汚染セラル

(一) 左肩胛間部より前面左肋骨三肋骨部ニ達スル
貫通銃創一ヶ所

(二) 左膝関節部ニ於テ複雑骨折ヲ示スル貫通銃創
一ヶ所

(三) 右肩胛間部ニ於テ二個ノ刺創アリ何レモ銃器ヲ以テ

(簡易貿易特製)

900352

刺入ニタルモノニシテ筋肉及ヒ内臓ニ達ス

右肩部及ヒ左側胸部腋下線ヲ五肋骨部ニ於テ刺創
ニケ所何レモ内臓及ヒ筋肉ニ達ス

右致命ノ原因ニテ項ノ損傷ニ因ルモノト檢案候也

大正九年十月二日

支那駐春西門外

醫師安陸兼吉



(問島貿易特製)

死体受取書
輝春西所外

野中右一

右大正九年十月二日馬賊襲来之際に受取られ
が美し御検視の上、大渡相成正に受取られ也
大正九年十月五日

輝春日本人居留民會

川島統領事務分
別領事秋柳三郎殿

變死
體檢
視調
書

氏年
如令

安田誠松
当三十七年

原籍

原籍廣島縣廣島市東區

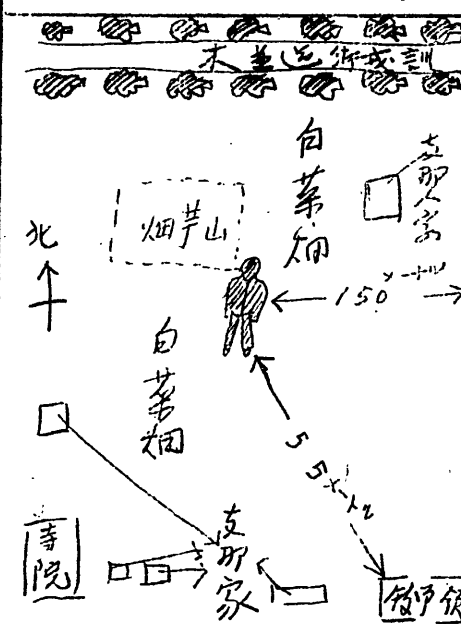
住所

任所
支那
理春
西門
外
廣

我業

稽業
材能
聽

圖 略



狀置 / 死
態及位

解毒の發 西北方約五十五メートルノ白雲如中ニ頭部ヲ北方ニ足部ヲ南方ニテ仰臥位ニアリ死体ノ袴襟黒キ汗服ヲ着用シテ附近ニ多敷ノ足跡アリ此ノ跡は圓ニ而シテ鮮血ヲ以テ汚染セラル死体ハ眼瞼閉目腫孔數大シ鬚鬚脱落急ノ状態アリ云々

死况及原因

大正九年十月二日午時四時許、多分、馬賊、新本に侵入、多岐、馳せ、解難し、
 かん毛年為七時三十分、火災、及、新本、帰、り、ぬ、鍋、内、に、香、の、煙、の、火、に、氣、付、り、
 追、難、物、を、追、走、り、合、て、走、り、告、示、合、除、共、に、走、り、出、ず、照、國、ノ、地、所、に、火、
 彈、に、衣、着、け、り、四、功、局、即、ち、焚、カ、レ、倒、ル、迄、に、走、り、かん、賊、ノ、所、所、捕、を、ん、斃、り、存、
 在、し、又、別、隊、医、師、援、集、し、面、を、り、ん、刺、傷、り、な、げ、處、殺、サ、レ、ん、と、い、う、

及立
會人

大正九年七月二十日午後三時
安葬所外立會人
大正九年七月二十日午後三時
安葬所外立會人

考備

續所大正九年十月一日賄有唐殺せし元朝人十名中一人ナリ

大正九年十月二日午前十時
在岡山縣警署外務部
外務部
主會人
以在 大橋 志枝 志枝
以在 大橋 志枝 志枝

死體検察書

住所支那那那西門外門廣福寺方

安田誠松

明治三十七年

右者大正九年十月二十日午後二時許者領事官館前庭
ニ於テ検死官警察代理巡查部長志波嘉六氏
立會ニ上死體ヲ検察スルノ如シ

一死體ノ位置理者領事官館書記生官舎
ノ北側ニ體ノ長軸ヲ東西ニ頭部ハ東方ニテ
仰臥セリ

一死體ノ状況

(一) 左前額髪際部ニ刺創一ヶ所骨ニ達ス

(二) 左頬部ニ刺創一ヶ所口腔ニ達ス

(三) 右顴骨直上部位ニ切創一ヶ所長サ五仙米突中
一仙米突深サ骨ニ達ス

(四) 前胞右乳線乳四肋骨部ニ首管銃創一ヶ所
右ニ付断案ヲ下ニ才四頂(二)ノ損傷ハ人體ノ
貴要ナル部ニ銃創ヲ負ヒタルヲ以テ致命セシメタ
ルモノト検察候也

大正九年十月二日

(簡島貿易特製)

死体受取書

死者西内門廣瀬番手

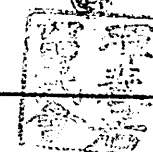
安田誠松

大正九年十月五日

右大正九年十月二日馬賊襲来之際、受取死体
が、其付、御検視、上平木渡相成正、受取矣也
大正九年十月五日

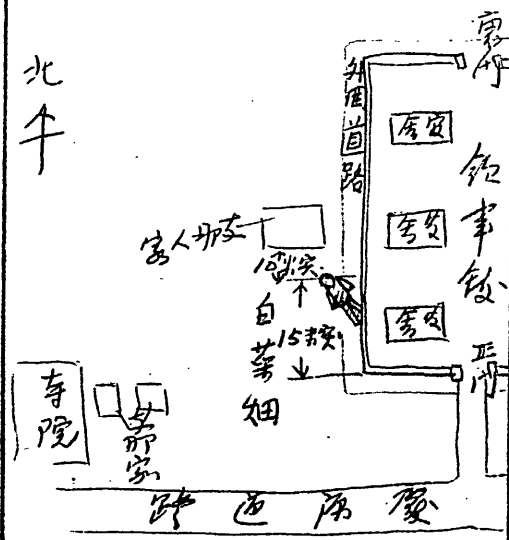
輝春日本人義勇隊

前島銃隊事務所
別件事務所
秋山有三郎



變死体檢視調書

氏名 原田 龜次 年令 三十五	原籍 富山縣久米郡久米村大字久米川南ノ五十五	住所 富山縣西ノ外 信所 理番西ノ外 職業 薪賃商	死体 位置 富山縣西ノ外 信所 理番西ノ外 職業 薪賃商	変死 状況 大正九年十月二日午前十一時 在富山縣總領事館前 五會人 大志 橋 熊	原因 大正九年十月二日午前十一時 在富山縣總領事館前 五會人 大志 橋 熊	醫師 檢案 大正九年十月二日午前十一時 在富山縣總領事館前 五會人 大志 橋 熊	備考 大正九年十月二日午前十一時 在富山縣總領事館前 五會人 大志 橋 熊
--------------------------	---------------------------	--	--	---	---	---	---



900357

死體検査書

住所 支那輝春西門外

雜貨商 原田龜次

昭和十五年

右者大正九年十月二日午台三時三十分輝春領事官館
ノ前庭ニ於テ檢死官警部代理部長志波嘉六氏立會、
上死體ヲ検査スルノ如シ

一死體ノ位置 輝春領事官館ノ前庭ニ數個ノ死體ト共ニ
頭部ヲ東方ニ向ケ仰臥ノ位置ニアリ

一死體ノ状況 内地人男子ニシテ詰襟洋服ヲ着用シ眼

瞼開目瞳孔散大シ頸閉緊急ノ狀態ニアリ

(一)左陰囊部ヨリ右股関節外側ニ達スル貫通銃創
一ヶ所

(二)前胸部ニ於テ右乳嘴直上ヨリ右肩胛間部ニ達ス
貫通銃創一ヶ所

(三)頸部ニ於テ全周囲ヲ繞ラズ壓痕アリ
古致命ノ原因ハテ二項ニ因ルモノト検査候也

大正九年十月二日

支那輝春西門外

醫師 安陪兼吉

(簡易貿易特製)

900358

死体受取書
得春西門外

百田竜次

右大正九年十月二日馬賊襲来之際に受取
が美付き御檢視上より下渡相成正に受取也
大正九年十月五日

得春日本人義勇隊

川島義雄
副隊長
秋山有三
殿



變死體檢視調書

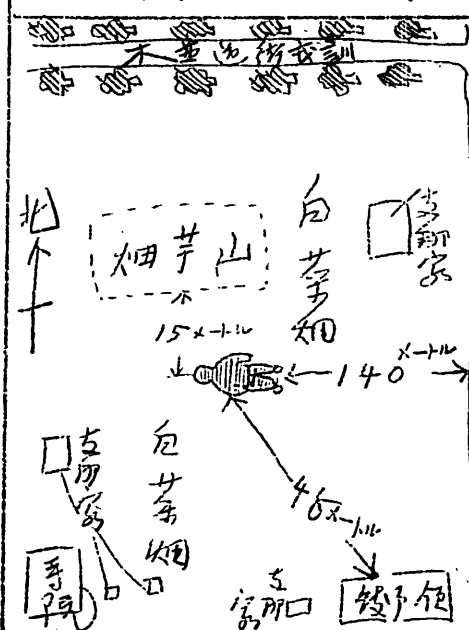
若林高廣
三十四年

第三十四年

望籍愛知西加茂郡紫雲寺
 摩訶樹台方十三番地
 高秀一第
 徑所支那碑吾西列外
 職業木材商

職業木技者

圖 略



狀置 / 死
態及位体

睡者子後西北方約四十里來突一烟中ニ強即り西方ニ足即り東方ニ
ニ服臥位ニテ死作一物所白葉烟中ニソテ十五里來突ニ霧ニテ山井
烟中ニ死作一法掃色一掃眼ヲ看用ニ眼懷同リ睡孔散大
ニ頻頻閉急ニ收斂スリナリ

衰死

[illegible]

東國

醫士換及會人

大正九年三月十四日午後三時四十分發病、午後五時後、
換藥、午後七時、春、西、外、區、師、生、院、兼、士、
立、會、人、右、務、部、
調所大正九年十月一日、馬、賊、行、屠、殺、の、事、
邦、人、十、名、中、一、人、ナリ

考備

大正九年十月二日 午前十時
在岡島總領事館 拜會 貴族院 代理
外務省 出立 部長 志波 喜
立會人 出立 大橋 喜

死體検案書

任所支那警察西門外

材木商若林高廣

明治三十四年

右者大正九年十月二日午後三時四十分、任所警察分館前庭に於て、檢死官警察部代理部長志波嘉六氏立會の上、死體ヲ検案スルニ、尤、如シ
一、死體ノ位置、彈丸發射分館前庭に數個ノ死體ト共ニ、頭部ヲ東方ニ向テ仰臥セリ
一、死體ノ状況、内地人男子ニシテ、諸襟ノ服ヲ着用シ、眼瞼閉目、瞳孔散大ニ、頸閉緊急ノ状態ニシ、(1)背部に於テ、肋骨部ヲ右前肋乳線部、(2)肋骨部ニ達ス、貫通銃創一ヶ所、以上記載ノ銃創ハ、人體ノ貴要部ヲ貫通シタルヲ以テ致命シタルモノト検案候也

大正九年十月二日

任所支那警察西門外

醫師安陪兼



(問島貿易特製)

900361

死体受取書
坪春西門外

若林 高廣

右大正九年十月二日馬賊襲来之際に受取られ
ケ美に付し御検視し上り下渡相成正に受取られ
大正九年十月五日

坪春田本入為民會

阿島総領事館
別館事務秋柳之印版

豪死體檢視調書

洪谷子作
書三十五年

五
住所
支那傳者外理者西

朝新德智村遊藝部

致業 厚繼 青出於中 輕居
駒越村大字 金平

户主 魏太初 次男

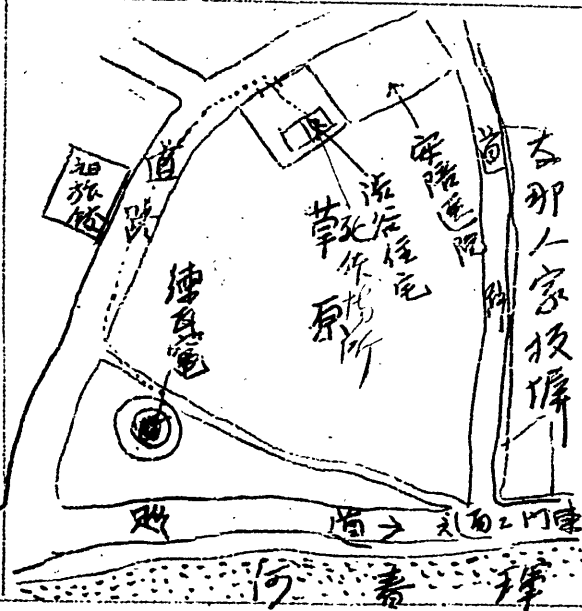
[illegible]

大正九年十月二十日午後七時馬賊、新々来工廠に侵入し、莫か子母之如
引連し略奪ノ餘電燈焚き内ニ潛み物ヲ盗リ賊ニ発見セラル
銃射セラル前住ノ面傷ヲ被テ後自宅ニ帰り逆ニ午後收寄
通年、云々云々云々

大正九年十月廿午時方時醫師癩瘡不
稱醫所外 醫師 寧 陰 蕭 堂
主命人 大 橋 然 乙

本公朝野協心討逆都を以て傳者に流遣せられしに也
 二子不逞數人臣賊に性阻尋酒を徒勝り荒じ今因に馬
 賊に被害せられしに也一因之に本公一葉に重傷あり今
 長女も亦被害せられしに也

大正九年十月二日午後三時
在東京總領事館前
外務省 出立部長 志賀 嘉七郎
主賓 出立 大橋 武



900363

死體檢案書

佐那瑋春西門外

朝鮮總督府警部 瀧谷多作

蘭秀十五歳

右者大正九年十月二日午後六時支那瑋春西門外瀧谷氏
自宅ニ於テ檢死官警部代理部長志波嘉六氏主會ノ上
死體ヲ檢案スルノ左ノ如シ

一死體位置

死體ハ本人自宅入口ノ西側ノ南ニ面シタル一室ニ於テ頭部ヲ
東方ニ向ケ仰臥セリ

一死體状況

小兒一腰推却ニ於テ首貫銃創一ヶ所
右大腿前面中ニ一ヶ所一即四頭股骨筋内側ヨリ全大
腿後面中ニ一ヶ所一即一連スル貫通銃創一ヶ所
右第一項銃創ヲ被リ腸管ヲ損傷シ急性腹膜炎
ヲ起シ致命シタルモノト檢案候也

大正九年十月二日

支那瑋春西門外

医師 安陪 兼 出

(商品貿易特製)

5-1504

0025

900364

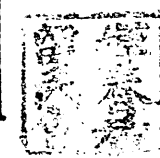
死体受取書
河春西内外

洪石男作

右大正九年十月二日馬賊襲来之際シ変死シ遂
ガ美ニ付テ御檢視上テ下渡相成正ニ受取ヌ也
大正九年十月五日

河春西内外

河春西内外
別館事秋柳都之部殿



900366

死體検案書	
住所	支那暹春西門外
安藤義好	廿九歳
右者大正九年十月二日午後四時二十分暹春領事分館前庭郵便局分室、東方に於て検死官警部代理外務省巡查部長西志波嘉六氏立會、上死體ヲ検案スルコト左ノ如シ 一死體ノ位置 暹春領事分館前庭郵便局分室ノ東方ニ横アリ頭部ヲ西方ニ向ケ仰臥セリ 一死體ノ状況 一頭部 於テ右前額部ヨリ三角縫合ニ達スル貫通銃創一ヶ所 一四右鎖骨上窩ヨリ肩胛骨上縁ニ達スル貫通銃創一ヶ所 一右肘関節部ニ貫通銃創一ヶ所アリ該創ハ西洋手拭ヲ以テ端帯シアリ 一右ニ付断案ヲ下スニ最初肘関節部ニ銃創ヲ負ヒ自己ニ於テ假繃帶ヲ為シ而テ交戦中ニ一カニ項ノ銃創ヲ被リ致命シタルモノト検案セリ也 大正九年十月二日 支那暹春西門外 医師 安藤 義	

900367

死体受取書

海春西内外

安藤

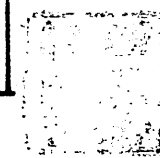
義好

為三十九年

右大正九年十月二日馬賊襲来之際シ受取リ遂
ガ美ニ付テ御檢視ノ上津下渡相成正ニ受取ス也
大正九年十月五日

釋春回本人流為氏會

間島後任事被釋者分被
別任事秋柳有之計被



漢死體檢視調書

氏名	原田 丁一
年令	廿六
原籍	岡山府久米郡久米
住所	大分県大分市
職業	種畜師
死因	不明
死時	大正九年十月十日午後十時
死所	大分県大分市
発見	不明
検視	大分県大分市
検視官	大分県大分市
検視結果	不明
備考	不明

北

900369

死體検案書

任所支那彈着西門外

雜貨商京田了サノ

大正九年

右者大正九年十月二日午後四時十分彈着領事
館前庭に於て檢死官警部代理巡查部長
志波嘉六氏立會の上死體ヲ検案スル九ノ如シ
一死體ノ位置彈着領事館前庭に於て體ノ
長軸ヲ東西ニシテ頸部ハ東ニテ仰臥セリ
一死體ノ状況内地人女子ニシテ頸部及ヒ顔面一般ニ

流血ヲ汚染セリ

ハ後頭結節部ヲ前頭部ニ達シ貫通銃創
ヲ銃銃創ノ射出口ハ複雑骨折ヲ起シ腦

髓ノ中ハ露出セリ

四頸部ハ木綿ノ紐ヲ以テ絞首セシ形跡アリ

右身斷案ヲ下ニシテ頭蓋ニ銃創ヲ負ヒ尚ホ煩悶
死スル頸部ヲ絞首シタルモノト検案候也

大正九年十月二日

任所支那彈着西門外

醫師安倍榮吉

(同封書に捺印)

(複製用)

900370

死体受取書
死者西ノ外原田角次方
原少田アサノ
右大正九年十月二日馬鞍嶽大ニ於テ重死シテ
其時ニ即驗視シテ其不復相成正ニ受取ル也
大正九年十月五日
理人小原次方
剛島良重博士印
剛島良重博士印

内名
年令
標川子
考武松
土佐名

解金
考武松志金

原稿 原稿 長崎志 政 郡 地 理

瑞春侯子公
銘外歸書此

[illegible]

張華 女中

死作

リ、佐保八幡女子エシテ木錦

114
德
大
三
季
嘉
才
能
行

[illegible]

靈苑友八環書卷之三 續外篇書

狀
宣統元年十月廿五日
宣統元年十月廿五日

新刊宋史

原因

醫師 大正九年五月三日 馬井

檢査
後區所檢査
澤本

金人

瑞士政府于十月五日

一
十
三

考

大正九年十月三十日

在國史館奉敕撰書

外藤有造書

愛人

北

東門

外國道路

金庫

金庫

金庫

女界公局

孔氏居所

南米堂

南

鹽

圖

外國道路上一頭部ヲ東轉ニシ足部
塔西南端角ヨリ十四米突ク徑置ニテ
羽織ヲ著テ胸部ニ對シテ以テ
手腰着ニテ

木之陽に急險逼迫ノ者ノ原田龜
森々越工遙走セントスル際被_レ追_レ捕_レ

今更元作、能く其之能く運搬せし
内分 殿方郎 安政 嘉永
大橋 能く之

唐毅也
新入十名中ノ

[illegible]

1

死體檢案書

住所 支那彈春西門外

柳川 ツ子

當武拾老年

右者大正九年十月二日午後五時五十分彈春領事
 官館前庭ニ於テ檢死官警部代理部長志波嘉次氏
 主會ノ上死體ヲ檢案スルコトナリ如シ
 一、死體ノ位置 死體彈春領事官館前庭ニアリテ體、
 長軸ヲ東西ニシ頭部ヲ東方向ケ仰臥セリ
 一、死體ノ状況

(イ) 右乳線ニ於テ掌肋部ヨリ背面分十二胞推ノ右側ニ
 達スル貫通銃創一ヶ所

(ロ) 頸部ハ木綿ノ紐ヲ以テ絞首シタル形跡アリ

右ニ付新案ヲトスニ被害者ハヤ一項ノ銃創ヲ被レリ尚
 活働スルヲ以テ頸部ヲ縛シ致命セシメタルモノト檢案候也

大正九年十月二日

支那彈春西門外

医師 安 陪 兼



(問島貿易特製)

(寶島用)

900373

死体受取書

輝春領事館長高松作次郎

輝川 当三子

右大正九年十月二日馬賊襲来之際、受取、逆
が、其、付、御、検、視、上、所、不、便、相、成、正、受、取、也
大正九年十月五日

輝春日本人居留民會

前島總領事館
副領事秋山柳三郎殿

900375

死體檢案書

住所支那埠春西門外領事館官舎

志波正治

當武年

右者大正九年十月廿午後二時當醫院に於て檢死官
警部代理部長志波嘉次氏立會、上死體ヲ檢案スル
ヲ如シ

一、死體ノ狀況

左鎖骨下三分一ノ外方に於て盲管銃創一ヶ所

右に付新案の下に鎖骨下動脈及肺ノ上葉ヲ損
傷シ致命ニ至ルト檢案候也

大正九年十月二日

支那埠春西門外

医師 安 隆 兼 吉

(問島貿易特製)

5-1504

0037

900376

900376

死体受取書

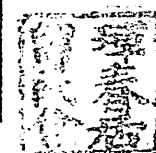
河津右衛門左衛門尉長官等志願者

志願者 正治

右大正九年十月二日馬賊襲來之際、受取死
が美三付、御檢視、上、未渡、正、受取、也
大正九年十月五日

河津右衛門左衛門尉長官等

河津右衛門左衛門尉長官等
河津右衛門左衛門尉長官等



渡谷操子									
享年一十一年									
住所 神奈川縣 磯部町 磯部									
職業 朝野新聞社 記者									
身分 一人									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
遺体 磯部町大字 金平 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部 磯部									
死因 青島市中 被刺死									
死後 磯部町大字 金									

900378

死體檢案書

住所支那埠春西門外

瀝谷操子

廿一年

右者大正九年十月二日午後二時理春領事分館前庭
於之檢死官警部代理部長志波嘉六氏主會ノ上死體ヲ
檢案スルコト左ノ如シ

一死體ノ位置 死體ハ理春領事分館ノ前庭ニ收容シアリテ
頭ヲ東方ニ向ケ仰臥ノ位置ニアリ

一死體ノ状況

ハ頭蓋骨ハ半ハ破壊シ全腦髓ヲ脱出シアリタルヲ以テ銃創
ノ射入孔射生孔ニ鑑別ヲ明ニセス

右者人體貴要部ヲ破壊セラルタルヲ以テ致命
シタルモノト
檢案候也

大正九年十月二日

支那埠春西門外

醫師安陪兼吉



(間島貿易特製)

900379

死体受取書
死者西内外懐石等作
株石操子
大正九年十月二日馬賊襲来之際
死者は其子と共に見守るに被り
取手也
大正九年十月二日馬賊襲来之際
死者は其子と共に見守るに被り
取手也
死者は其子と共に見守るに被り
取手也



變死体檢視調書

氏名 年令

朝鮮人

昌禹

原籍

朝鮮咸鏡北道靈城郡

住所

僅所支那種者則外
膠業現者經多多錢勢業
另法外務者則唐、

職業

死位 置及 状态

頭より多分鞍西北方約四十米突ノ烟中ニ墮即ち西北方ニ是即ち東南
 ニシ仰臥位より附近ニ白茅畑ニテ多牧草踏み以テ膝蹴ニ落所
 鮮血ノ附着より傷ハ死体ニ鑑入要ニシテ外務省参照ニ盡
 正服ヲ着シ眼瞼開目ニ腔ニ土砂ト血液リ以テ汚染セラル

原因及状况

大正九年十月三日 馬鐵號來封レ年参七時廿分 西門ヲ封 難民相爲
趙奎ニ除 難西走ノ傳 獲ヲ爲サムト 前防所ノ賊徒下 封 射
解中 賊彈ニ 左牙四 叩骨印ヲ 北 而牙三 叩骨印 將柱ニ 着スル 彈
丸ヲ受テ 即死シタルヲ示シ

及立換案

大正九年十月二日午後三時就決う鐵内座参之西口石久後三師
控審事也 藤君西所外 一途師出 陰算 亨

考備

留所大正九年十月一日竹分館之移轉轉倒之旨馬賊防衛所之舊
周發之鈎記云云

大正九年十月二日

在簡島總領事較瑋森

立會人 趙大橋 嘉 會

死體検案書

住所 支那琿春西門外

外務省調査 命 目 島

右者大正九年十月二日午後二時三十分琿春領事官館
西北方約五十米突、畑中、於テ檢死官警部代理部長
志波嘉次氏立會、上死體ヲ檢案スルコト左、如シ

一死體ノ位置 琿春領事官館西北方約五十米突、畑中
、頭部ヲ西北方ニシ足部ヲ東南ニシ仰臥位ニアリ

一死體附近ノ状況 ハ白菜及ヒ山草畑ニシテ多數ノ足跡

以テ蹠蹠シ諸所鮮血ノ附着スルヲ見ル

一死體ノ状況 死體ハ鮮人男子ニシテ巡查服ヲ着用シ眼
瞼閉目口腔ハ土砂ト血液ヲ以テ汚染セラル

(1) 左頬部より右頬部ニ達スル貫通銃創一ヶ所

(2) 背面部一腰髓部より前面、臍部ニ達スル貫通銃創
一ヶ所

(3) 左肩胛間部、於テ刺創一ヶ所

右致命原因 腰髓部、貫通銃創、因、腸管、損傷ヲ来シ
致命シタルモノト檢案候也

大正九年十月二日

(問心貿易特製)

900382

支那彈春西門外

醫師安陪庸吉

(審用)

(問島貿易特製)

5-1504

0044

死体受取書
西片外

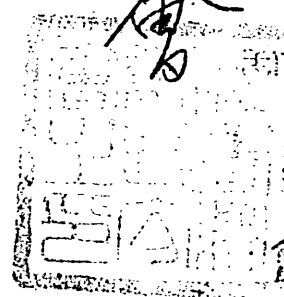
俞昌禹

大正九年十月二日馬賊襲来之際に受
死したる夫の尸を汝様親へ上り下り搜捕せし
受取具也

大正九年十月五日

朝鮮民公會

周島嶺鎮守使署宛
副官事 秋村 柳三郎 敬



900383

變死体檢視調書

氏名	入金 萬壽	年令	當二十九
原籍	原籍成鏡北通慶源郡慶	住所	源面道直洞以下不詳
身分	常民	職業	無職
死体	瑞春候事、銀構の西側煙尾端、下、頭部を西北に足部を東南に、仰臥位にあり、煙尾端西北端角より十米突巡査官舎、物置場より十米突、位置にあり死体ハ鮮人男子に、紅色ノ服ヲ着用シ眼瞼閉目腫敬大顎閉緊急ノ状態ニあり	圖	
変死	本名ハ物置場被殺事件、休常飲法、於テ急没十月、處セシ服役中、大正九年十月一日夜馬賊襲来、墜シ危除逼迫、多シ監房門ヲ開放シ殺放セリ、モノモノ一、時ハ右館中庭、墜入シ、庭ノ全館大ニ危、餘切迫ナルヲ中庭、出テ西側煙尾端、檢工通走セント、此際略同、場切、水ノ賊、射、刺創傷ヲ受テ、死ニ至リ、死因ハ別紙医師檢案書ニ通リ		
原因	大正九年十月二日午後三時、瑞春候事、變死体ヲ檢前庭、運ビ、後、医師檢案書、瑞春、西川外、医師、安陸、萬壽、三、大橋、熊、二		
醫師	大正九年十月二日午後三時、瑞春候事、變死体ヲ檢前庭、運ビ、後、医師檢案書、瑞春、西川外、医師、安陸、萬壽、三、大橋、熊、二		
檢案	大正九年十月二日午後三時、瑞春候事、變死体ヲ檢前庭、運ビ、後、医師檢案書、瑞春、西川外、医師、安陸、萬壽、三、大橋、熊、二		
及立	大正九年十月二日午後三時、瑞春候事、變死体ヲ檢前庭、運ビ、後、医師檢案書、瑞春、西川外、医師、安陸、萬壽、三、大橋、熊、二		
備考	大正九年十月二日午後三時、瑞春候事、變死体ヲ檢前庭、運ビ、後、医師檢案書、瑞春、西川外、医師、安陸、萬壽、三、大橋、熊、二		

大正九年十月二日午前十一時
在岡倉修候事、瑞春、銀構、瑞春、法警、部、代理
外務省巡査部長 志波 孝初
主査 大橋 熊 二

死體検案書

堺春領事分館留置場内

既決因

金

萬

寿

大正九年十月二日

右者大正九年十月二日午後二時十分、堺春領事分館前庭に於て、検死官警部代理巡查部長志波嘉六氏立會、且死體ヲ検案スルノ如シ
一、死體ノ位置、彈着領事分館前庭に於て頭部ヲ西方ニ向テ數個ノ死體ト共ニ堆積セラリタリ
一、死體ノ狀況、鮮人男子、ニテ、~~裸體~~股ヲ着用シ

眼瞼閉目、瞳孔散大、頸閉緊急ノ状態ナリ

(一) 左頬部ニ刺創一ヶ所、長さ二仙米、深一仙米、突深サ僅
薄ニ達ス

(二) 心窩部ニ刺創一ヶ所、長さ二仙米、突幅一仙米、突
深サ腹腔ニ達ス

(三) 右手ニ於テ、第一指、第二指、第三指、第四指、第五指、其第一節、
部ニ於テ各指ノ半ハ切創ヲ負ヘリ

(四) 右胸乳線、第五肋間ニ於テ、盲管銃創一ヶ所、
右致命ノ原因ハ、第四項ノ銃創ニ因ルモノト検案候也

大正九年十月二日

(岡島貿易特製)

金萬壽

大正九年十月五日
朝野民公會
理事
大正九年十月二日馬賊襲來之際已變
死子六人付之步換視上馬下搜劫於近
受取矣也

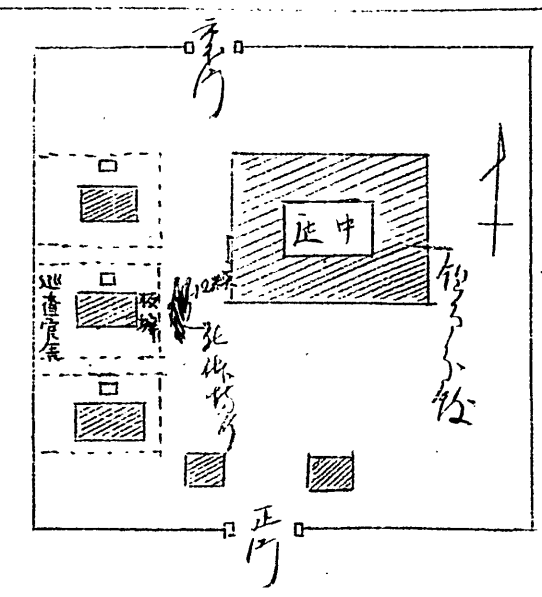
愛死體検視調査書

氏名 陳 泰 煥
年令 五十四歳

原籍 廣東省南寧市
住所 廣東省南寧市
職業 穀類商

死體 陳君は結構の愛死官舎、東側板塀の下、頸部を南方、足部を北方、仰臥位にあり、蓋板を介し、板塀より四米突發する事務室、玄關より十二米突發し、位置に在り、死体ハ鮮人男子、朝解服を着し、眼瞼閉目、瞳孔散大、頸項部を介し、收斂、

略 図



死因 右横領被殺す件、未決因す、大正九年十月一日、夜馬賊ハ右横領被殺す、死因ハ不明、蓋板より開放し、収斂、死体ハ鮮人男子、朝解服を着し、眼瞼閉目、瞳孔散大、頸項部を介し、收斂、

検察官 大正九年十月一日、午後三時、死体ハ鮮人男子、朝解服を着し、眼瞼閉目、瞳孔散大、頸項部を介し、收斂、

備考 大正九年十月一日、午後三時、死体ハ鮮人男子、朝解服を着し、眼瞼閉目、瞳孔散大、頸項部を介し、收斂、

大正九年十月一日、午後三時、死体ハ鮮人男子、朝解服を着し、眼瞼閉目、瞳孔散大、頸項部を介し、收斂、

900387

死體檢案書

彈春領事分館留置場

未決囚 陳 泰煥

廿四拾年

右者大正九年十月二日午後三時十分彈春領事分館
前庭に於て檢死官警部代理部長志波嘉六氏立
會の上死體ヲ檢死スルコト左ノ如シ

一死體ノ位置ハ彈春領事分館前庭ニ於テ頭部ヲ
西方ニ向ケ數個ノ死體ト共ニ推積セラリタリ
一死體ノ狀況 鮮人男子ニシテ朝鮮服ヲ着用シ臉眼

閉目瞳孔散大頸開緊急ノ狀態ニアリ

ハ右胞李肋部ヨリ左側腋下ニ達スル貫通銃創
一ヶ所

右致命ノ原因ハ一項貫通銃創ニ因ルモノト
檢案候也

大正九年十月二日

支那彈春西門外

醫師 安陪兼



(同島貿易特製)

900388

死体受取書

陳泰

泰

煥

昭和四年

大正九年

十月二日

馬賊襲来

路を變

死に下りて

受取書也

陳泰

煥

昭和四年

大正九年

大正九年

十月五日

朝鮮民公會

會

大正九年

大正九年

十月五日

朝鮮民公會

會

大正九年

大正九年

十月五日

朝鮮民公會

會

大正九年

大正九年

十月五日

朝鮮民公會

會

大正九年

大正九年

十月五日

朝鮮民公會

會

大正九年

氏名 年令

朴
茂
彬

五十七年

多病

原稿 正解

診所

信所 露殿
バ
ト
ス

身

常民

耿芳

日産葉

死休 位 置 反 收 悉

此方之足部之西南方之ニテ仰臥位ニテ、鋸ノ裏門ヲハ米穀煉尾ノ北端角ヲ四米突ノ位置ニテ附止ニ白甘菜烟アリ死体ハ解人男子ニテ黒色露朝解服ヲ着用シ眼瞼半開瞳孔散大頸項堅急ノ状態ニテ

聖死

原因及狀

右ハ竊盜被害事件ヲ疎因ナリシカニ九月十日一夜馬賊五名被禁
 學ノ際ハ賊ニ致火ヲシテ危險切迫ノ爲メ監官ヲ開致シタル者ハ人
 ハ他ノ避難者ナリ者ニ集門ヲ出テ逃走セシムル時署内ノ塙所ニ於
 テ賊ヲ殺創リタル者五死シタルモノニシテ致命ノ原因ハ医師検査
 者ニ面シテナリ

醫師 檢査

去巳九月十日辛巳以四時平令喪死佈了銘於前庭、運心之後
醫師藥々 瑞若乃外 匠師 女隣 分助 出

會人

五唐人
大橋能一乙

備

去西九年十月二日馬賊有慘殺之人在臨安及為軍人五名

考

去山九年十月二日午刻十時

在商急修頌之銘

銀課者分銷發之序有累法發之部代現
外務者巡警部長巡警為收者前

五庸人

巡查大橋



900390

死體検案書

琿春領事館留置場内

未決囚

朴成彬

三十九年

右者大正九年十月二日午後四時三十分琿春領事館前庭に於て横死官警部代理巡查部長志波泰吉氏立命の上死體を検案スルに於て

一死體ノ位置琿春領事館前庭に於て體ノ長軸ヲ東西ニシテ頭部ハ西方に向ヒ数個ノ死體ト共ニ堆積ニアリタリ

一死體ノ状況鮮人男子ニシテ朝鮮服ヲ着用シ眼瞼半開瞳孔散大頸関緊急ノ状態ニシタリ

(イ)腹部白線ノ臍下一仙米突ノ部、於テ盲管銃創一ヶ所
(ロ)右下肢膝関節部ヨリ脛骨ノ上端部ニ達スル貫通銃創一ヶ所

(ハ)左耳輪直上ヨリ右額頂骨中央部ニ達スル貫通銃創一ヶ所

以上記載ニ於テ一俟及ヒテ三頂ノ銃創ハ人體ノ重要部ナルヲ以テ致命セシメタルモノト検案便也

大正九年十月二日

(問島貿易特製)

(continued)

100

(舊用)

(岡島貿易特製)

0055

死体受取書

河春西外

朴成彬

当三十七年

右大正九年十月二日馬賊襲来、路に变
死、多、其、付、言、汚、検、視、上、下、搜、相、成、正、
受取、其、也

河春

大正九年十月五日

朝鮮民公會

同島、臨時、事務、所、長、
劉、伯、事、秋、松、所、之、所、服

喪死體檢視調書

氏名 年令

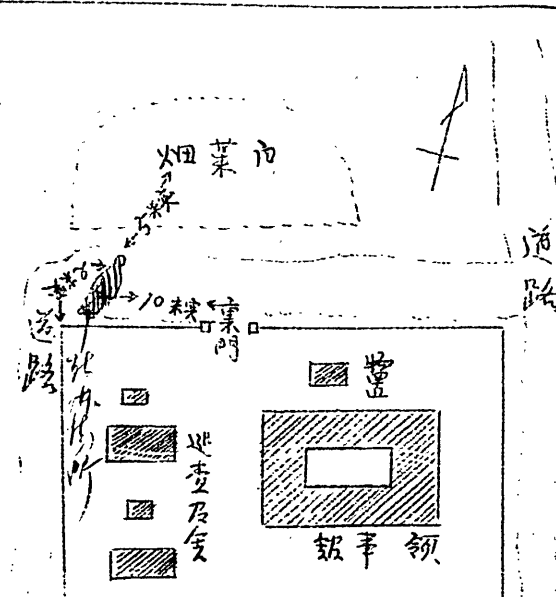
金 仁 跋

累

原稿 原稿 咸鏡北道金寧郡
金寧面以石坪
所移 身分 所移 身分
取業 常民 所移 身分

常民財木膏

後



死体 一位 置反 收斂
 殯葬の執事門了、西方之至、煉瓦塔外、外國道路上、頭部々北方
 是部より南方、之ヲ仰臥位、之ヲ執、東門より幾十米突、煉瓦塔、西北端
 角より二米突、之ヲ置、之ヲ附近ハ、黄葉、煙、之ヲ死体ハ朝鮮人男子
 之ヲ朝鮮服ヲ著シ、眼瞼半開、腫死、致大顎、閉、急、之ヲ起セ

要死
 狀
 次及
 原因
 年八月、新令違反事件、付拘留中、一、九四年十月一日、夜馬賊襲來、
 時賊ハ者、船ハ、旗大シ、漸次危險、逼迫、乃、其、三、度、開放シ、救放シ、
 之、レ、他、避難、難、底、ト、其、索、門、ヲ、出、テ、遁、走、セ、レ、ト、之、際、異、國、博、新、
 之、異、通、鏡、創、ウ、憂、ケ、要、死、セ、リ、致命ノ原因ハ、医師、拉、索、素、面、
 十、

醫師 古氏 九 年 十 月 二 日 年 始 創 此 作 以 銷 前 庭 之 運 心 以 報 醫 師 檢 藥 之 功
 檢藥 及 立
 會人 譯 書 而 外 醫 師 安 陸 公 第 十 古 糖 能 以 二
 會人

休
古の九年十月乙酉賊ヲ慘殺セシ急に監人及留置人五
名中二人ナリ

考

大正九年十月二十日

在商盤德所之卦理焉不結發之旁四署法盤一部什調

王唐人
 王唐
 大橋
 熊二

900393

死體檢案書

住所 不詳

本味因 金 仁 黙

大正八年

右者大正九年十月二日午後三時彈春領事令館前庭に於
て檢死官警部代理部長志波嘉六氏立會し上死體ヲ
檢案スルコト左ノ如シ

一死體位置 彈春領事令館前庭に疊積シヤリタリ
一死體附近状況 鮮血ニ汚染シタル馬賊ノ死體散在スルヲ見ル
一死體狀況 死體ハ朝鮮人男子ニシテ近來散髮セルモノ如ク

眼瞼半開瞳孔散大シ頸關緊急ヲ起セリ

(1)前胸部 左第四肋骨部ニ背面第三肋骨部脊柱

左側ニ達スル貫通銃創一ヶ所

(2)全身 第一度ノ火傷ヲ被ヒシ

右致命ノ原因ハ前記第四肋骨部貫通銃創ニ致シ

火傷致命後ナリト檢案候也

大正九年十月二日

支那彈春西門外

醫師 安陪業 謹

(問島貿易特製)

恆若所外

金
仁
默

卷ニテ

大正九年十月二日馬賊襲來

乳子下天時
步換視仁
下換
正

受取美也

琿春

大正九年十月五日
朝野新聞

周易卷之八

劉敬軒秋樹齋王司馬




養正體檢視調書

补
久
善

卷二十四

張

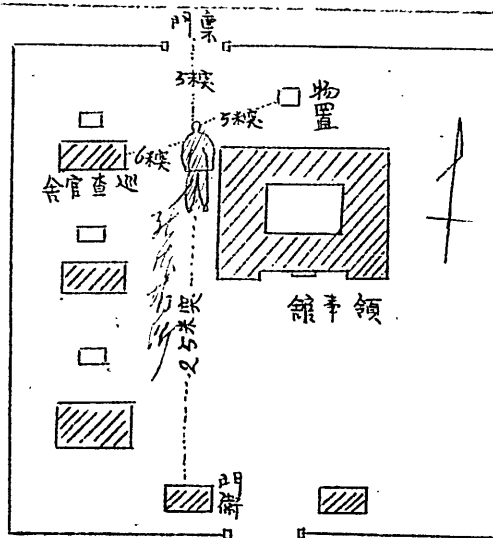
原籍不詳

陞所
陞春縣大肚川

常民

日産業

圖



李長山

死体 彈奏領事分館々室ノ西北碧角下ニ頸部ヲ西北ニ足部ヲ東
南ニシテ仰臥位ニアリ 館ノ東門ヲ五米突物置塙アリ五米突
巡查官舍ヲ六米突門衛所ヲ二十五米突ノ位置ニシテ死体分
葬人偶男子ニシテ上衣ハ襦袢一枚ヲ着ニ葬式袴ヲ穿テ眼瞼半開
ニシテ死体アリ

變死 右、常璽被殺事件、事決因ナリ、ホトシ九年十月一日夜、馬賊、常璽館、越入、狀、跡、老、險、逼、迫、ノ、爲、メ、監、房、ヲ、開、放、シ、一時、釈、放、シ、タル、外、ニ、出、テ、
逃、難、セ、レ、ル、時、館、ノ、東、門、ニ、侵、入、セ、シ、賊、ノ、爲、メ、左、側、胸、部、ニ、盲、
刀、刺、入、リ、受、ケ、重、傷、ヲ、受、ケ、死、シ、タル、事、ナリ、

醫師 大正九年十月二十六日午後三時五十分、變死体ヲ發シ、前庭ニ運搬
檢案、之ヲ返シ、師檢案ス、
大橋 西川外、醫士師 安部 實吉 去
主務人 大橋 熊三
第八人

大正九年十月 馬賊之慘殺也 囚人五名 申一人 十

考

大正九年十月二日

在河島德順子館理春分館警務署若詰警部代理

外務省巡查部長巡查志波嘉加

五金巡查大橋熊

900395

死体検案書
瑋春飲事分館留置場内
未決囚 朴 允 善
武十四年
右者大正九年十月二日午後三時五十分瑋春飲事分館前庭ニ於テ 検死官警部代理外務省巡查部長志波嘉次氏立會、上死体 ヲ検案スルニ左ノ如シ
一、死体位置 瑋春飲事分館前庭ニ於テ歎部ヲ西方向ケ 敷個ノ死体ト共ニ堆積シアリタリ
一、死体ノ状況 鮮人男子ニテ上衣、褌袴一枚ヲ着用シ朝鮮式 袴ヲ穿ケ眼瞼半開暗ハ歎大顎閉緊急ノ状然ニアリ 右左側腹部カ四肋間ニ盲管銃創一ヶ所 右左上肢中央桡骨側ニ切創ニヶ所 右牙一頂ノ銃創ニ因テ致命シタルト検案候也
大正九年十月二日
支那瑋春西門外
醫師安陽第 吉

全長11.5cm 重量1.5g

900396

死体受取書

孫春西内外

朴元善

右大正九年十月二日馬賊襲来、路に變
死す不美、所より決て現、上り下り相成、正
受取矣也

大正九年十月五日 孫春西内公 會

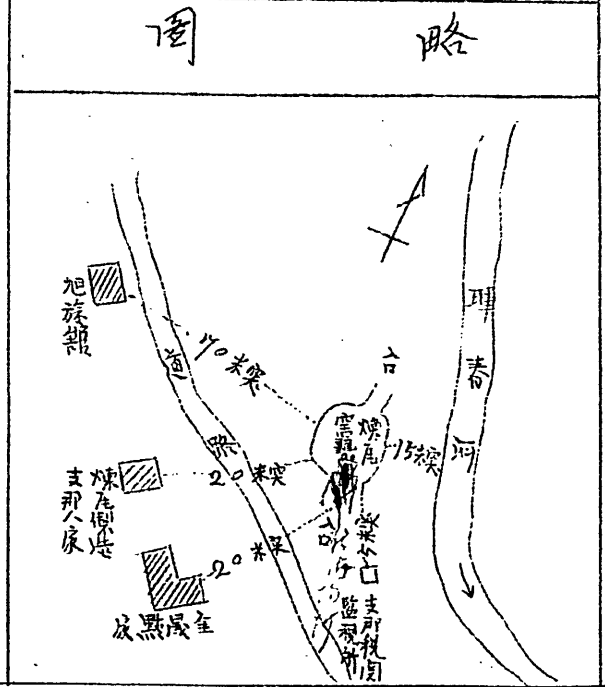
同島嶼、孫春西内公、
副、孫春西内公、
秋、孫春西内公、
柳、孫春西内公、
之、孫春西内公、
即、孫春西内公、
服、孫春西内公、

900397

愛死體檢視調書

氏名 池 愛 仁
年令 当二十六年

原籍 原籍成鏡北道金富郡
住居 常陸面一洞常陸郡
身立 常陸材木商金成惣妻
職業 無職



死体 理春河門外理春河ノ右岸支那人煙舎ニ傍ル煉瓦製造所ノ
入口ニ頭部ヲ西南ニ足部ヲ東北ニ伏臥位ニアリテ本人同宅ノ子
米突旭族館ヲ去ル米突理春河ヲ十五米突ノ位置ニアリ死体ハ
朝鮮人女子ニシテ鮮服ヲ着ス

変死 在ハ大正九年十月下夜馬賊襲来ノ際避難ノ為ノ家族共ニ自
宅ヲ出テ前記煉瓦製造所ノ中ニ潜入シ居ル中賊ニ発見セラレ煉瓦
製造所ノ入口ヲ鋭利ノ刃ヲ即死ニシタルナリ

原因 大正九年十月下夜三時多クニ医師検査アリ
理春河門外 監理師 安陸常務長
及至 主事人 方橋純二

備考 本人死体ハ被宝塚所アリ自宅室内ニ運搬シテ後醫士師検
査アリタルナリ

大正九年十月下
在阿島佐々木鐵道局分館長室ニ署長及新佐佐木
外務省巡查部長巡查志波嘉太郎
主事人 方橋純二

900398

死体検案書	
住所支那輝春西門外材木商金晟然妻	
池	愛仁
當二十六歳	
右者大正九年拾月二日午後参時支那輝春西門外金晟然	
方、於テ検死官警部代理外務省巡查部長志波嘉六	
氏立命ノ上死体ヲ検案スルコト左ノ如シ	
一死体ノ位置本人住所支那家屋南側一室温度ノ上ノ頭	
部ヲ西方ニ足部ヲ東方ニ向ケテ仰臥セリ	
一死体ノ情况	
(一)右鎖骨上窩中央部ヨリ左腋下線第六肋間ニ通スル	
貫通銃創一ヶ所	
右才一項ノ銃創ハ身体ノ貴要部ヲ貫通シタルヲ以テ致	
命ニタルモノト及檢案候也	
大正九年十月二日	
支那輝春西門外	
醫師安陽兼吉	

（検死官署名欄）

5-1504

0064

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

900399

死体受取書
源春西門外池

愛仁

孝三十八年

大正九年十月二日馬賊襲来海に死
り通る多付し馬賊視し上坂下坂の正
受取書也
大正九年十月五日
源春
朝鮮民公會
副理事 秋柳之即服

[illegible]

十月廿五日

42

松水石

日人
一九

分 出
張 10
00

馬賊被害死亡者調查表及目錄

900401

馬賊被害死亡者調査表及目録			
頁数	死亡者氏名年齢	身分及職業	備考
一	佐谷武	五十四 外務省警部	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
二	渋谷多作	三五 朝鮮總督府警部	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
三	野中右一	五一 木村高	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
四	原田龜次	三五 雜貨商	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
五	若林高廣	三四 木村伴買客	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
六	安藤義好	二七 大工職	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
七	志波正治	二 外務省警部	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
八	原田錢野	二六 雜貨商	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
九	張谷操子	一 朝鮮總督府警部	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
一〇	柳川つ不	二一 下女	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
一一	命昌禹	二七 外務省警部	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
一二	金炳謙	六二 旅人宿客	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
一三	池愛仁	二六 木村伴買客	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
一四	崔翔俊	二 雜貨商	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
一五	陳泰煥	三九 未決拘留囚	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
一六	金仁熙	二六 全	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
一七	朴允善	二二 拘留囚	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考
一八	金萬壽	三〇 既決囚	大正九年十月二日馬賊被害、死亡。備考

900402
906491

														一九
														朴
														成
														樹
														二
														六
														拘
														留
														圖
														左

5-1504

0069

900403

馬賊被害死亡者調査書									
本籍 福岡縣 福岡市外春日吉四十番地									
住所 支那吉林省琿春縣琿春街西門外軍領事館官舎									
職業 外務省警部(在琿春の館警部署長)									
氏名 佐々木 武									
年齢 五十四年									
遺族 關係 妻及長男十二才長女十才									
死亡當時収入 月額 貳百五十円									
社會地位 外務省警部									

900404

馬賊被害死者調査書											
本籍	青森縣中津軽郡駒越村大字金平番地不詳										
住所	支那瑞春縣瑞春街西門外										
職業	朝鮮總督府道警部										
氏名	波谷 多作										
年齢	五十四年										
遺族關係	妻及長男五才長女三才										
死亡當時收入	月額 百円										
社會地位	朝鮮總督府道警部										

900405

馬賊被害死亡者調査書									
本籍	長崎縣長崎市銭座町百口番地士族戸主								
住所	支那吉林省琿春縣琿春西門外								
職業	木材商(神戸鈴木商會出張員)								
氏名	野中右一								
年齢	五十一歳								
遺族関係	原籍地ニ妻子アリ								
死亡當時ノ収入	年額金四千五百円也								
社會ニ於ケル地位	會社員ニシテ相當ノ收入アリ社會地位トシテハ上等								

900406

900406

馬賊被害死亡者調査書									
本籍	岡山縣久米郡久米村大字久米川南千五百五十九番地								
住所	支那吉林省琿春縣琿春西門外戸主								
職業	雜貨商								
氏名	原田亀次								
年齢	五十五歳								
遺族関係	長女九才次女六才三才四才								
西親現存人									
死七當時ノ收入年額金壹千五百円也									
社會ニ於ケル地位									
雜貨小賣商ニシテ社會ニ於ケル地位ハ									
無し									

900407

900 10

馬賊被害死七者調査書	
本籍	東高市三河郡西宮町三番地 豊知縣西和成郡栗井町三番地 栗井町三番地
住所	支那吉林省琿春縣琿春西門外
職業	木材仲買
氏名	若林 高 廣
年齢	三十四 年
遺族ノ關係現住所ニ實弟アリ	
死七當時ノ收入年額金壹千五百円也	
社会ニ於ケル地位	
木材仲買業ナルモ社会ニ於ケル地位 ハ下等ナリ	

900408
900408

馬賊被害死亡者調査書									
本籍	廣嶋縣廣嶋市東奥屋所 ^市 南地 ^市 不詳								
住所	支那吉林省琿春縣琿春西門外門廟 ^{不詳}								
職業	彫刻師								
氏名	安田 誠 松								
年齢	三十七年								
遺族、関係	實母存 長男十二才 長女九才 妻アリ								
死亡當時、収入年額	金壹千五百円								
社會ニ於ケル地位	廣嶋縣立工學校卒業者ニシテ 彫刻師								

900409

馬賊被害死者調査書	本籍	住所	職業	氏名	年齢	遺族ノ關係	死亡當時ノ收入	社會ニ於テ地位	大政外ニ於テノ事業	歿七等ノ印
長野県上田郡上田町四丁目三番地 清作 男	長野県上田郡上田町四丁目三番地 清作 男	長野県上田郡上田町四丁目三番地 清作 男	大工職	安藤 義好	明治三十五年三月廿日生	遺族ノ關係 領事館及ニ民會ノ書類全部 焼失シタルニ付不詳	死亡當時ノ收入 日給五圓也	社會ニ於テ地位 大工	大政外ニ於テノ事業	歿七等ノ印 六級ノ有ク

（公）第 1504 号

5-1504

0076

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

900410

馬賊被害死者調査書									
生籍	佐賀縣佐賀郡川上村字前上二百八十三番地								
住所	支那吉林省輝春縣輝春街西門外領事館官舎内								
職業	外務省調査部長調査志破喜喜六右男								
氏名	志破正昭								
年齢	五二歳								
貴族ノ關係	貴父母及之四才アリ								
死亡當時ノ收入									
社會ニ於ケル地位	外務省調査部長ノ二男								

900411

馬賊被害死七調査書									
本籍	岡山縣久米郡久米村大字久米川南千二百五十五番地								
住所	支那吉林省琿春縣琿春西門外								
職業	雜貨商 原田逸次妻								
氏名	原田 逸次								
年齢	五十六年								
遺族、関係 長女才次女才三女四才及 兩親現存ス									
死七當時、收入大、收入年額千五百円 雜貨商大、秋及									
社會ニ於ケル地位 雜貨小賣商、妻ニシテ社會 的地位トシテハナシ									

900411

900412

馬賊被害死者調査書											
本籍	青森縣	中津輕郡	駒越村	大字	金平	番地	不詳				
住所	支那吉林省輝南县縣城街門外張石多作方										
職業	朝鮮總督府通譯部張石多作次女										
氏名	張石多作子										
年齢	七一年										
遺族	關係父母及兄五才姉三才ア										
死亡當時ノ収入											
社會地位	朝鮮總督府通譯部ニ女										

昭和三十九年九月一日

900413

馬賊被害死亡者調査書									
本籍	長崎縣志岐郡池田村 ^馬 戸主常中十孫								
住所	支那吉林省琿春縣琿春鎮事館高松街に在る								
職業	下婢								
氏名	柳川ツネ								
年齢	當二十一年								
遺族關係	本籍に祖父及安貞父あり								
死亡當時、収入	月収金參拾圓也								
社會に於ける地位	女中奉公中、若し社會的地位ナシ								

900414

馬賊被害死亡者調書									
本籍	朝鮮咸鏡北道鏡城郡花田面一里洞								
住所	支那吉林省琿春縣琿春西門外								
職業	外務省巡查								
氏名	合所 日田 禹								
年齢	二十七年								
遺族ノ關係	母及妻子アリ								
死亡當時ノ收入	年額金壹千圓也								
社會ニ於ケル地位	外務省巡查								

900415

900415

馬賊被害死亡者調査書	本籍	咸鏡北道慶源郡安農面倉坪洞	住所	支那吉林省琿春縣琿春西門外	職業	ハ族ノ宿営業	氏名	金炳謙	年齢	当六十二年	遺族ノ関係	妻 長男十才次男九才	死亡當時ノ収入	年額金貳千円位	社會ニ於ケル地位	鮮人トシテハ中流以上	備考	本名ハ大正九年十月二日馬賊被害、除馬賊ニ拉去セリ琿春軍ヲ距ル西北方約五里ノ地点小盤嶺中腹ニ於テ馬賊ニ殺害セラレタハ者ナリ
------------	----	---------------	----	---------------	----	--------	----	-----	----	-------	-------	------------	---------	---------	----------	------------	----	--

5-1504

0002

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

9900416

馬賊被害死亡者調査書									
本籍	咸鏡北道會寧郡會寧面一洞								
住所	支那吉林省琿春縣琿春西門外								
職業	木材仲間賣業ノ妻								
氏名	池愛仁								
年齢	五十六年								
遺族ノ關係夫及長男ニオアリ									
死亡當時ノ收入夫ノ收入年額參千圓也									
夫ノ扶養ニ依ル									
社會ニ在ル地位									
木材仲間賣高ノ妻ニシテ社會的地位トシテハ別ニナシ									

900417

900417

馬賊被害死亡者調査書	
本籍	朝鮮咸鏡北道鏡城郡漢郎面永南洞
住所	支那琿春西門外
職業	雜貨商崔昌錫、長男
氏名	崔 翊俊
年齢	五二年
遺族ノ關係	實父母アリ
死亡當時ノ收入	主收入年額二千円位
社會ニ於ケル地位	無
備考 本人ハ本年十月二日馬賊襲来ノ際實母 乙員レ琿春河江煉瓦窰内ニ避難シ スル交賊徒ニ見セラル左ノ乙員通 銃創ヲ蒙リ帰郷改療中ノ要 月ニ死セリト云フ詳細照合 中	

900418

900418

馬賊被害死亡者調査書									
本籍	咸鏡南道安邊郡塔岩洞秀嶽里以下不詳								
住所	支那同島龍井村一區海園前村								
職業	乾物行商								
氏名	陳 恭煥								
年齢	三十九年								
遺族、関係	妻四十二才長男九才								
死亡當時、収入年額金八百圓位									
本人、詐欺及横領等事件ニテ有罪									
起訴取調中、モノナリ									
社會、旅行、傭用地位									
社會ニ於テハ地位トシテハナシ									

900419

馬賊被害死亡者調査書									
本籍	朝鮮咸鏡北道會寧郡會寧面一洞以下不詳								
住所	支那琿春西門外金成照方								
職業	木材仲間業ノ店員								
氏名	金 仁 點								
年齢	五十六年								
遺族関係	實母五十五才第二子アリ								
収入	年額金五百圓位								
社会地位	無し								
備考	本人ハ暴行被害事件ニテ被檢ニ拘留取調 中ノモリニテハ馬賊被害者トシテ遺族同族者アリ 門ク出テ逃レ中賊彈ニ斃レタハモナリ								

900420

馬賊被害死亡者調査書														
本籍	朝鮮咸鏡北道慶源郡慶源面下面洞以下不詳													
住所	支那琿春縣大肚川													
職業	農業													
氏名	朴元善													
年齢	当二十二年													
遺族関係	妻当二十一年アリ													
死亡當時 収入	年額金参百円位													
社会関係	無し													
備考	本人ハ常ニ被害事件ニシテ金銀ヲ拘留一取用中ノ 者ナリシガ馬賊被害ノ後監禁ノ内放シタル事録													
東門内ニテ賊隊ニセリ襲レタルモノナリ														

900421

馬賊被害死七者調査書									
本籍	朝鮮咸鏡北道慶源郡慶源邑以下不詳								
住所	令道令郡令面道直洞								
職業	日稼屋								
氏名	金 萬 壽								
年齢	五十三歳								
世族関係	要二十五才長男六才アリ								
死に當時 の收入	無し								
社会的地位	無し								
備考	本人ハ必死ニ決ミテ死シタル事ハ疑ハズニ入監中ノモノナリシガ馬賊 襲来ノ際監中アリ同放シタルハ交々彼捕ハニテ特強 コナリ被殺レタルモノナリ								

900422

900421

馬賊被害死亡者調査書

本籍	朝鮮咸鏡北道穩城郡訓訓戎面
住所	露領パトシ
職業	農業
氏名	朴成彬
年齢	当二十六年
遺族関係	實母アリ
死に當時 収入	無し
社會的地位	無し
備考	本人ハ寧邊被害事件ニテ老幼拘留所附屬ノモノナリ 此ハ露領警員ハ陸監房ヲ開放シテハ逃去ノ票ハ 外ニテ賊隊ニテ殺シ去ルノナリ

彈春事件資料
大正九年十月二日
西
大

900423

死體檢案書
住所彈春領事分館官舎
外務省警部 佐谷武
大正九年十月二日
右者大正九年十月二日午後四時彈春領事分館警 察事務室焼跡ニ於テ檢死官警部代理迭査部 長志波嘉六氏立會ノ上死體ヲ檢案スルコト左如シ 一死體ノ位置彈春領事分館警察署事務室ニ於テ 體ノ長軸ヲ東西ニシ頭部ハ東方ニアリテ伏臥セルモノ如シ 一死體附近ノ状況一般ニ焼上ト化シ僅カニ四圍ノ練 尾壁ヲ存スルニ 一死體ノ状況死體ハ火葬ニ附シタルモノト等シク僅カニ 人體ノ形ヲ認ムルニ過キズ 右ニ付断案ヲ下スニ最初負傷ノ為メ身體ノ自由ヲ 失ヒ焼死ヲ遂ケタルモノト檢案候也 大正九年十月二日 住所支那彈春西門外 醫師 安陪兼吉

900424

死体検案書

住所 琿春西門外

朝鮮総督府警部

渋谷 多作

当三十五年

右者大正九年十月二日午後六時支那琿春西門外
渋谷氏自宅ニ於テ検死官警部代理志波嘉
六氏ノ立會ノ上死体ヲ検案スルヲ了ノ如シ
一死体ノ位置

(1)死体ハ本人自宅ノ入口西側ノ南ニ面シタル一
室ニ於テ頭部ヲ東方ニ向ケ仰臥セリ
一死体ノ状況

(1)第一腰推部ニ於テ盲貫銃創一ヶ所
(2)右大腿前面中三分一部四頭股筋ノ内側ヨリ
全大腿後前面中三分一ニ達スル貫通銃
創一ヶ所

右第一項ノ銃創ヲ被リ腸管ヲ損傷シ急性
腹膜炎ヲ起シ致命シタルモノト検案候也

大正九年十月二日

支那琿春西門外

900425

醫師
安部兼吉

醫師 安部兼吉

5-1504

0092

3) 900426

死體檢案書	
住所支那琿春西門外	
鈴木商否員 野中右一	
當五拾壹歳	
右者大正九年十月二日午后貳時四拾分琿春領事分館西北約五拾米突、烟中ニ於テ檢査死官外務省警部代理巡査部長志波嘉六氏立會ノ上死體ヲ檢死スルコト左ノ如シ	
一死體ノ位置琿春領事分館西北方約五十參米突、烟中ニ頭部ヲ西北方ニシテ足部ヲ東南ニシテ	
眠卧位ニアリ	
一死體附近ノ状況一般ニ白菜及ヒ山芋畑ニシテ多数ノ足跡ヲ以テ蹂躪シ四圍鮮血ヲ以テ汚染セラル	
一死體ノ状況死體ハ内地人男子ニシテ詰襟ノ洋服ヲ着用シ眼瞼半開瞳孔散大シ口唇口腔ハ土砂及ヒ血液ヲ以テ汚染セラル	
一左肩胛間部ヨリ前面左肋骨ニ達スル貫通銃創一ヶ所	
一右膝關節部ニ於テ複雑骨折ヲ兼スル貫通銃創一ヶ所	

900427

900427

900427

(ハ) 右肩胛間部ニ於テ二個ノ刺創アリ何レモ銳器ヲ以テ刺入シタルモノニシテ筋肉及ヒ内臓ニ達ス

(ニ) 左肩部及ヒ左側胸部腋下線ヲ五肋骨部ニ於テ刺創ニケ所何レモ内臓及筋肉ニ達ス

右致命ノ原因ハ第一項ノ損傷ニ因ルモノト檢案候也

大正九年十月二日

支那理春西門外

醫師 安陪兼吉

900428

死體檢案書

住所支那暹春西門外

材木商 若林高廣

當三十四年

右者大正九年十月二日午後三時四十分暹春領事
分館前庭ニ於テ檢死官警部代理込査部長
志波嘉六氏立會ノ上死体ヲ檢案スルコト左
一死体ノ位置暹春領事分館ノ前庭ニ數個ノ死
体ト共ニ頭部ヲ東方ニ向ケ仰臥セリ
一死体ノ状況内地人男子ニシテ詰襟ノ服ヲ着用
シ眼瞼閉目瞳孔散大シ頸関緊急ノ状態ニ
アリ
一背部ニ於テ第十肋骨部ヨリ右前胸乳線部
ノ第四肋骨部ニ達スル貫通銃創一ヶ所
以上記載ノ銃創ハ人體ノ貴要部ヲ貫通シタル
ヲ以テ致命シタルモノト檢案候也

大正九年十月二日

住所支那暹春西門外

医師安倍兼吉

公證印

900429

死體檢案書

住所支那暉春西門外

雜貨商原田龜次

當參拾五年

右者大正九年十月二日午后三時二十分暉春領事
分館ノ前庭ニ於テ檢死官數部代理部長志波
嘉六代立會ノ上死体ヲ檢案スルコト左ノ如シ
一死體ノ位置暉春領事分館ノ前庭ニ數個ノ死
體ト共ニ頭部ヲ東方ニ向ケ仰臥ノ位置ニアリ
一死體ノ状況内地人男子ニシテ詰襟洋服ヲ着用シ
眼瞼閉目瞳孔散大シ頸閉緊急ノ状態ニアリ
一左陰囊部ヨリ右股関節外側ニ達スル貫通銃
創一ヶ所
一前胸部ニ於テ右乳嘴直上ヨリ右肩胛間部ニ
達スル貫通銃創一ヶ所
一頸部ニ於テ全周囲ヲ繞ラス壓痕アリ
右致命ノ原因ハ矛二項ニ因スルモノト檢案候也

大正九年十月二日

支那暉春西門外

醫師 安倍 兼士

900120
900430

死體檢案書

住所支那暹春西門外門廣謙吾方

安田誠松

大正三十七年

右者大正九年十月二日午後二時暹春領事分館前庭ニ於テ檢
死官警部代理巡査部長志波嘉六氏立會ノ上死體ヲ檢
案スルニト左ノ如シ

一死体ノ位置暹春領事分館書記生官舎ノ北側ニ體長
軸ヲ東西ニ頭部ハ東方ニアリテ仰臥セリ

一死体ノ状況

イ

左前額髮際部ニ刺創一ヶ所骨ニ達ス

ロ左頬部ニ刺創一ヶ所口腔ニ達ス

ハ右顴骨直上部ニ切創一ヶ所長サ五仙米突巾一仙米

突深サ骨ニ達ス

ニ前胸右乳線ノ四肋骨部ニ盲管銃創一ヶ所

右ニ付斷案ヲ下スニ矛四頂ニ損傷ハ人体ノ貴要ナル部

ニ銃創ヲ負ヒタルヲ以テ致命セシメタルモノト檢案候也

大正九年十月二日

支那暹春西門外

醫師 安陪兼吉

17

900431

死体検案書
住所支那琿春西門外
雜貨商 原田アサノ
当二十六年
右者大正九年十月二日午後四時十分琿春領事分館 前庭ニ於テ檢死官警部代理巡查部長志波 嘉六氏ノ立會ノ上死体ヲ檢案スル事ヲ如シ 一死体ノ位置琿春領事分館前庭ニ於テ体ノ長 軸ヲ東西ニシ頭部ハ東ニアリ仰臥セリ 一死体ノ状況内地人女子ニシテ頭部及顔面ハ一 般ニ流血ヲ以テ汚染セララル 一後頭結節部ヨリ前頭部ニ達スル貫通銃 創アリ該銃創ノ射出ハ複雑骨折ヲ起シ 脳髓ノ半ハ露出セリ 一頭部ハ木綿ノ紐ヲ以テ絞首シタル形跡アリ 右ニ付斷案ヲ下スニ頭蓋ニ銃創ヲ負ヒ尚ホ煩 悶スルヲ以テ頭部ヲ絞首シ致命セシタルモノト檢案 候也
大正九年十月二日住所支那琿春西門外
医師 安部兼吉

史書部蔵書印

900432

死体検案書	
住所支那琿春西門外	
渋谷操子	
小倉 走年	
右者大正九年十月二日午後三時琿春領事分館前庭ニ於テ檢死官警部代理部長志波嘉六氏立會ノ上死体ヲ檢案スル事尤ノ如シ	
一死体ノ位置	
死体ハ琿春領事分館ノ前庭ニ収容シアリテ頭ヲ東方ニ向ケ仰臥ノ位置ニアリ	
一死体ノ状況	
ハ頭蓋骨ノ半バ破壊シ全腦髓ヲ脱出シアリタルヲ以テ銃創ノ射入孔ノ鑑別ヲ明ニセズ	
右者人体貴重部ヲ破壊セラレタルヲ以テ致命シタルモノト檢案ス矣也	
大正九年十月二日	
支那琿春西門外	

支那琿春西門外

900433

281000

醫師 安部兼吉

醫師 安部 兼吉

5 - 1 5 0 4

0100

900434

死體檢案書
住所支那埠春西門外領事館官舎
志波正治
當武年
右者大正九年十月二日午後二時當醫院ニ於テ檢死
官警部代理部長志波嘉六氏之會ノ上死體ヲ
檢案スルコト左ノ如シ
一死體ノ状況
（一）左鎖骨下三分ノ一外方ニ於テ盲管銃創一ヶ所
石ニ付斷案ヲ下スニ鎖骨下動脈及ヒ肺ノ上葉
ヲ損傷シ致命シタルモノト檢案候也
大正九年十月二日
支那埠春西門外
医師安倍兼吉

大正九年十月二日



900435

死體檢案書	住所支那暉春西門外	柳川ツネ	當式拾一年	右者大正九年十月二日午後三時五十分暉春領事分館前庭ニ於テ檢死官警部代理部長志波嘉六氏之會ノ上死體ヲ檢案スルコト左ノ如シ	一死體ノ位置死體ハ暉春領事分館前庭ニアリテ體ノ長軸ヲ東西ニシ頭部ヲ東方ニ向ケ仰臥セリ	一死體ノ状況	右乳線ニ於テ季肋部ヨリ背面ヲ十二胸推ノ左側ニ達スル貫通銃創一ヶ所	口頸部ハ木綿ノ紐ヲ以テ絞首シタル形跡アリ	右ニ付斷案ヲ下スニ被害者ハ一項ノ銃創ヲ被リ尚活動スルヲ以テ頸部ヲ縛シ致命セシメタルモノト檢案候也	大正九年十月二日	支那暉春西門外	医師安陪兼吉
-------	-----------	------	-------	---	--	--------	----------------------------------	----------------------	--	----------	---------	--------

死体検案書

理香領事館留置場内

所決田 金 萬 壽

当三十二年

右者大正九年十月二日午時三十分理香領事館前庭に於て検死官警部代理巡查部長先波嘉六氏立会の上死体ヲ検案スル事左ノ如シ

一死体ノ位置理香領事館前庭ニ於て頭部ヲ西方ニ向テ数個ノ死体ト共ニ堆積シテ

リタリ

一死体ノ状況鮮人男子ニシテ紅色ノ服ヲ着用シ眼瞼閉目瞳孔散大顎関節緊急ノ

状態ニアリ

(一) 左胸^{左胸}部ニ刺創一ヶ所長サニ仙米突巾一仙米突深サ齒槽ニ達ス

(二) 心窩部ニ刺創一ヶ所長サニ五仙米突幅巾

一仙米突ノ深サ腹腔ニ達ス

一右牛ニ於テ第(指)ヨリ第五指ニ至ル各指ハ其第一節一部ニ於テ各指ノ半ハ切創ニ負

醫師 安部兼吉

死体検案書	琿春領事分館留置場内	未決囚 陳 泰 煥	当四十二年	右者大正九年十月二日午後三時十分領事分館前庭ニ於テ檢死官警部代理部長志波嘉六氏ノ立會ノ上死体ヲ檢死スル事尤ノ如シ	一死体ノ位置ハ琿春領事分館前庭ニ於テ頭部ヲ西方ニ向ケ数個死體ト共ニ推積シアリタリ	一死体ノ状況鮮人男子ニシテ朝鮮服ヲ着用シ眼瞼閉目瞳孔散大頸関急ノ状態ニアリ	右胸季肋部ヨリ左側腋下ニ達スル貫通銃創一所右致命ノ原因ハ第一項貫通銃創ニ因ルモノト檢案候也	大正九年十月二日	支那琿春西門外	医師 安倍兼吉
-------	------------	-----------	-------	--	--	---------------------------------------	---	----------	---------	---------

中央公館正館三階中

死體検案書	住所 不詳	未決囚 金 仁 黙	式拾八年	右者大正九年十月二日午後三時彈春領事分館前庭ニ於テ検死官警部代理部長志波嘉六代ニ會シ上死體ヲ検案スルコト左ノ如シ	一死體ノ位置彈春領事分館前庭ニ置積シアリ	一死體附近ノ状況鮮血ニ汚染シタル馬賊ノ死體散在スルヲ見ル	一死體ノ状況死體ハ朝鮮人男子ニシテ近來散髪セルモノ、如ク眼瞼半開孔散大シ頸関緊急ヲ起セリ	一前胸部左方肋骨部ニ背面方三肋骨部脊椎ノ左側ニ達スル貫通銃創一ヶ所	一全身ハ矛一度ノ火傷ヲ被レリ	右致命ノ原因ハ前記ノ四肋骨部ノ貫通銃創ニ敵死レ火傷ハ致命後ナリト検案候也	大正九年十月二日	支那彈春西門外	醫師 安倍 兼 吉
-------	-------	-----------	------	--	----------------------	------------------------------	--	-----------------------------------	----------------	--------------------------------------	----------	---------	-----------

9900440

死體檢案書

住所支那琿春西門外

外務省送査俞昌禹

當武松 歲

右者大正九年十月二日午二時三十分琿春領事分館西門約五十米突ノ畑中ニ於テ檢死官警部代理部長志波嘉六氏立會ノ上死體檢案スルコト互如シ
一死體ノ位置琿春領事分館西門約五十米突ノ畑中ニ頭部ヲ西門方ニシ足部ヲ東南ニシ仰臥位ニアリ
一死體附近ノ状況ハ白菜及ヒ山芋畑ニシテ多数ノ足跡ヲ以テ蹂躪シ諸所鮮血ノ附著スルヲ見ル
一死體ノ状況死體ハ鮮人男子ニシテ送査服ヲ着用シ眼瞼閉目口腔ハ土砂ト血液ヲ以テ汚染セラル
一左頬部ヨリ右頬部ニ達スル貫通銃創一ヶ所
一右背面第一腰髓部ヨリ前面臍部ニ達スル貫通銃創一ヶ所
一左肩胛間部ニ於テ刺創一ヶ所
右致命ノ原因ハ腰髓部ノ貫通銃創ニ因リ腸管ノ損傷ヲ来シ致命シタルモノト檢案候也

大正九年十月二日

由琿春領事分館送付

900441

支那彈春西門外
醫師 安倍蕭吉

由陳其南、王明賢等主編

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

5-1504

0108

死體検案書

琿春領事分館留置場内

未決囚 朴 成彬

大正三十五年

右者大正九年十月二日午後四時二十分琿春領事分館
前庭ニ於テ検死官警部代理巡查部長志波嘉
六氏立會ニ上死體ヲ検案スルコト左ノ如シ
一死体ノ位置琿春領事分館前庭ニ於テ体ノ長軸ヲ
東西ニシ頭部ハ西方ニ向ヒ数個ノ死体ト共ニ推積シ
アリタリ

一死体ノ状況鮮人男子ニシテ朝鮮服ヲ着用シ眼瞼
半開瞳孔散大頸関緊急ノ状態ニアリ

一腹部白線ノ臍下一仙米突ノ部ニ於テ自管銃創
一ヶ所

一右下肢膝関節部ヨリ脛骨ノ上端部ニ達スル貫通
銃創一ヶ所

一左耳輪直上ヨリ右顱頂骨中央部ニ達スル貫通
銃創一ヶ所

一上記載スル第一項及第二項ノ銃創ハ人體ノ重要部
ナルヲ以テ致命セシメタルモノト検案候也

検案書第〇〇〇〇号

900443

支那壇春西門外
醫師安陪兼士口

中央研究院歷史語言研究所

5 - 1 5 0 4

0110

900444

第4

死體檢案書	住所不詳	姓名不詳	年齢三十四五歳位
右者大正九年十月十一日午後二時禪春河第一渡船場 (禪春領事分館西南約二千米處)ニ於テ檢査官警 部代理外務省送來伴龍賢代立會ノ上死體ヲ檢 査スルコト左ノ如シ			
一死体ノ位置禪春河第一渡船場			
一死体附近ノ状況現場ニ一ヶ所流血痕ヲ認ムノ外何 等記載ス可キモノナシ			
一死体ノ状況			
ハ死体ハ朝鮮人男子ニシテ頭部ハ散髪ナルモ近來散 髪セサルモノ、如シ服裝ハ全ク朝鮮式ノ衣袴ヲ着 用シ體ノ長軸ヲ南北ニシ頭部ハ南方ニアリテ作 卧セリ左上肢ハ體ノ外方四十五度ニ開キ右上肢 ハ體ニ沿フテ踵下シ兩下肢ハ鉛直ニ並行シ左足 ニ朝鮮鞋ヲ穿テ右足ハ足袋ヲ穿テルノミ			
ハ死者ハ体格營養共ニ中等ノ男子ニシテ皮下脂 肪ノ乏シク顔面蒼白色ニシテ眼瞼閉目角			

由良重太郎氏提供

900445

膜咽濁シテ口角ハ稍ヤ左方ニ傾斜シ顎関節緊急及ヒ強直ハ全身ニ漲レリ

(ハ)左眉根部ニ盲管銃創一ヶ所

(ニ)左顔面ニ於テ左耳系ヨリ全側口角部ニ達スル大刺傷一ヶ所

(ホ)左耳後ヨリ頸部ニ亘ル大創傷ニ亙アリ

(ヘ)左上膊中央ニ頭膊筋部ニ盲管銃創一ヶ所以上

(ニホ)外傷ハ釘ノ如キモノヲ以テ切創ヲ加ヘハハ外傷ハ拳銃ニ因リテ貫傷セシメタルモノト檢案候也

大正九年十月十日

曙春西門外

醫師 安倍兼吉